

戦争反対！ 安保関連法案撤回！ シリーズ①

集団的自衛権って何？

若手社員の皆さん、現在国会では、安倍政権が集団的自衛権に基づく安全保障関連法案（いわゆる「戦争法案」）の審議を行っています。この法案が通れば、若い人たちを中心に戦争に動員される可能性が大きくなります。「俺は政治に関心ない」と言われていられる時代ではありません。これを契機に、安倍政権が進めている政策を勉強しましょう。シリーズで発行しますので、ぜひ読んで下さい。

集団的自衛権とは…

集団的自衛権とは、他国（米国などの同盟国）が行っている戦争に、日本（自衛隊）が一緒になって戦争に加担することです。これに対し、日本が他国から攻められたときに単独で応戦する権利を個別的自衛権といいます（イラスト参照）。集団的自衛権は昨年7月、すでに閣議決定されています。

集団的自衛権は、この間の政府見解（もちろん自民党政権）では「憲法違反」とされてきました。しかし、安倍政権によって、憲法解釈を180度変えてしまったのです。解釈について議論したのが、安倍首相の私的諮問機関「安全保障の法的基盤の再構築に関する懇談会（安保法制懇）」です。JR東海葛西名誉会長は懇談会会員の一人です。

この閣議決定により、自衛隊は他国の戦争に加担できるようになったのです。

